

科目名称：	こども特演Ⅳ（保育内容（人間関係）指導法Ⅰ）	
担当者名：	金城 智代	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
幼児は多様な人間関係を通じて自他理解、社会関係や社会性を発達させる。乳幼児期の子どもを取り巻く人間関係の現状と課題について学び、乳幼児期における「人とのかかわる力」の育ちについて理解を深める。		
授業の達成目標・到達目標		
①乳幼児期の子どもを取り巻く人間関係の現状と課題について知る。 ②乳幼児期における「人とのかかわる力」の育ちについて理解を深める。 ③教材研究を通して、あそびの重要性を学ぶとともに、保育者に必要な協同性、実践力を養う。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)	80			20	100
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回	保育内容の構造と領域「人間関係」について	保育内容の構造と領域の特徴について、内容を整理しておくこと	20分
第2回	子どもの人間関係をめぐる現代的課題（1）現代社会の子どもを取り巻く諸問題について	乳幼児期の人間関係の育ちや特徴について、内容を整理しておくこと	60分
第3回	子どもの人間関係をめぐる現代的課題（2）これからの保育・幼児教育求められるニーズおよび重視すべきこと	これからの保育・幼児教育に求められるニーズについて、事前に考えておくこと	60分
第4回	人とのかかわりと育ち（1）0歳児	0歳児の人とのかかわりと特徴について、講義資料を読み、内容を整理しておくこと	60分
第5回	人とのかかわりと育ち（2）1,2歳満児	1,2歳児の人とのかかわりと特徴について、講義資料を読み、内容を整理しておくこと	60分
第6回	人とのかかわりと育ち（3）3歳以上児	3,4,5歳児の人とのかかわりと特徴について、講義資料を読み、内容を整理しておくこと	60分
第7回	教材研究（1）光る泥団子づくり	課題について調べ、必要な資料や材料などを用意しておくこと	60分
第8回	教材研究（2）発表、振り返り	発表に向けて課題に取り組んでおくこと	60分
第9回	人とのかかわりとあそび（1）あそびとはなにか	保育における「あそび」の重要性について、講義資料を読み、内容を整理しておくこと	60分
第10回	人とのかかわりとあそび（2）年齢別にみるあそびの中での関係発達	「あそび」の発達と人間関係の特徴について、講義資料を読み、内容を整理しておくこと	60分
第11回	人とのかかわりとあそび（3）あそびを通して学ぶもの	「あそび」から育まれる人とのかかわりについて、自らの経験を振り返りながら考察を深めておくこと	60分
第12回	教材研究（3）集団あそび（連続性、発展性）を考える、話し合い	課題について事前に調べ、必要な資料や材料などを用意しておくこと	60分
第13回	教材研究（4）模擬保育の実践	模擬保育の実践に向けて、必要な教材や資料などを用意しておくこと	60分
第14回	教材研究（5）記録、振り返り（ディスカッション）	課題内容について自己の取り組みを振り返り、整理しておくこと	60分
第15回	まとめ	これまでの学習内容を見直し、しっかり復習しておくこと	60分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、子ども同士が遊んでいる場面や子どもと養育者が遊んでいる様子などに関心をもち、気になる点を、書き留めておくこと</p>			
成績評価の方法・基準			
<p>定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>実技試験20%（授業への参加度を含む）</p>			
課題に対するフィードバック			
<p>授業で提出した演習課題の成果物やワークシートについては、点検・添削された後、次回以降の授業で返却し、講評する。講義だけでなく、グループワークなども行います。</p>			
教科書・参考書			
<p>教科書：使用テキストなし。適宜、資料を配布する。</p> <p>参考書：『最新保育講座8 保育内容「人間関係」』（ミネルヴァ書房）、「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省（フレーベル館）、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省（フレーベル館）、「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレーベル館）</p>			